

- 日本一現役の海女が多いまちとして、漁業と観光の連携によるまちづくりを推進するため、相 差 地 域 海 女 文 化 活 性 化 協 議 会 を 設 立。
- 継続的な来訪者確保のため、着地型商品をセットにした宿泊商品の販売をおこなうなど宿泊客の増加を図るとともに、地域が一体感を持った海女のまち相 差 の プロモーション活動を実施。

【地域の概要】

三重県鳥羽市



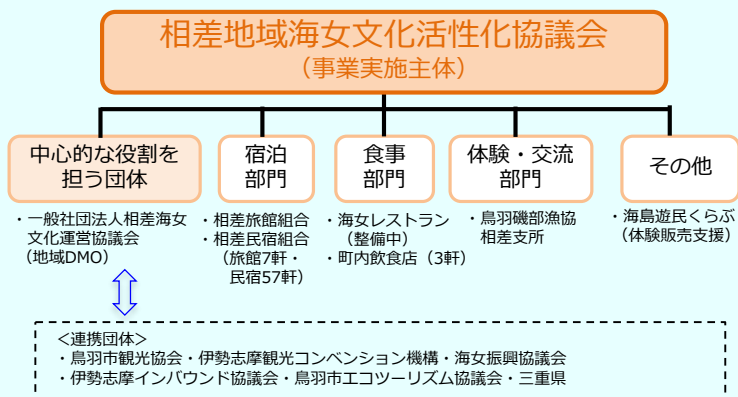
鳥羽市

＜地域の特徴＞

- 主要産業は伊勢海老を代表とする漁業、伊勢志摩の風光明媚な景色を活かした観光業。
- 「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定、「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」は日本農業遺産に認定。



【実施体制】



＜運営体制＞

- 地域住民のモチベーションを向上させ、持続可能な地域づくりを目指す地域DMOとして設立した（一社）相 差 海 女 文 化 運 営 協 議 会 を 中 心 に、相 差 地 域 に 残 る 海 女 文 化 の 継 承 や 普 及、まちづくりにつながる活動を効果的に行うため、鳥羽市農水商工課・観光課を構成員に加え、地域協議会を立ち上げ。
- （一社）相 差 海 女 文 化 運 営 協 議 会 が 体 験 施 設 「海 女 小 屋 相 差 か ま ど」 を 運 営 し、現役の海女をスタッフとして雇用。海女の漁獲による収入を補う重要な収入源となっている。

＜インバウンド対応＞

- 町内施設サインはすべて英語併記し、協議会HPも英語、中国語（繁体字）に対応。海女小屋体験では英語メニューやスマートフォン翻訳ソフトを活用しコミュニケーションを取っている。

【取組内容】

＜海女文化に関する取組＞

- 現役の海女とふれあうことができる「海女小屋 相 差 か ま ど」、海女について知る「海女文化資料館」、海女に関するグッズ等を販売する「古民家海女の家 五左屋（ござや）」の整備、相 差 ガイドの育成。賑わいを起こし周遊する拠点づくりを実施。
- 女性の願いをひとつだけ叶えてくれる神明神社「石神さん」をはじめ、海の信仰を知り体験する散策コースを整備。海女や地域に残る風習・文化に着目し商品化。商品造成にあたっては、町内会等と連携。



海女小屋 相 差 か ま ど



神明神社「石神さん」



海女さんが魔除けとして身につけていたセーマン（星形）ドーマン（格子縞）が綴られたお守り



旬の海の幸を堪能できる湯宿



現役の海女さん

＜宿泊に関する取組＞

- 海女文化を活用した着地型商品を組み入れた宿泊プランを販売。相 差 ・海 女 を ブ ラ ン ド 化 し、相 差 町 へ の 入 込 客 数 を 増 加 さ せ、基幹産業である宿泊業の稼働率を上げるとともに、食材を提供する地元漁業を活性化。

＜海女・海洋資源に関する取組＞

- 体験収入の一部をアワビの稚貝放流のために寄付、海女が収穫した海藻を海女の家等で販売など、海女の所得向上につなげていく取組を実施。地元漁協と連携し、海女の後継者の育成や所得向上につながるよう商品開発・販売を実施。